

発行
令和5年10月
第199号
古高町自治会
Tel 582-8448

広報古高

R5. 9.1 現在（前月比）
世帯数 1,501（+ 8）
人口 3,791（+ 9）
男 1,856（+ 4）
女 1,935（+ 5）

ふるたか往来

「古高鼓踊り」保存会
会長 中島 正一

「古高鼓踊り」の奉納が再4年ぶりに開催されました。保存会の皆様、町内の皆様のご支援ご協力により盛大にできました事を心から感謝とお礼を申し上げます。古高の鼓踊りは干ばつの時の雨乞い又、慈雨へのお礼参りを起源とし、五穀豊穡を祈願する田楽踊りであります。古来よりの踊りが子々孫々と伝承されんことを願います。

12月までの主な行事予定

- | | |
|-------------|----------------|
| ☆10月 8日(日) | 第2回古高町ふれあいまつり |
| ☆10月 14日(土) | 第3回班長協議会 |
| ☆10月 28日(土) | 古高町自主防災総合訓練 |
| ☆11月 4日(土) | 第2回すやかミニサロン |
| ☆11月 11日(土) | 第2回人権同和問題学習会 |
| ☆11月 19日(日) | ごみのない美しい街づくり運動 |
| ☆11月 23日(木) | 大將軍神社 秋季例祭 |
| ☆12月 31日(日) | 大晦日のつどい |



森中市長はじめたくさんのご来賓の方よりご祝辞をいただきました



古高鼓踊い奉納

令和5年8月26日



4年ぶりとなりましたが無事に奉納を終えることができました。
子ども達も一生懸命練習し、見事な踊りをみせてくれました！！



インタビューにも元気に答えてくれましたよ！！



水辺の観察会

2023.7.23 (まちづくり推進員青少年育成部会/子ども会開催)

夏休み最初の日曜日、4年ぶりに水辺の観察会を行いました。
夏日に見ている方は汗たくさんですが、吉川川に入った子ども達は冷たい川の水で暑さもなんのその、元気に生き物を探していました。
どんな生き物に出会えたかな？楽しかった？
最後にはニゴロブナを放流しましたよ。



いきものはどこ？どこ？



ニゴロブナさん大きく育ってね



敬老会

2023.9.18

ようやく開催することができました敬老会！！

ご参加いただきました皆様、お楽しみいただけたでしょうか。
歌あり、笑いあり、感動あり？の時間でした。😊



赤十字奉仕団による銭太鼓



栗東ファーマーズクラブさんの弾き語りと紙芝居



BINGOゲーム



人権同和問題学習会が開催されました

2023.7.8 (まちづくり推進員人権部会開催)

物部小学校の川嶋校長先生を講師として、子どもにも分かりやすい「かんたんじんけん教室」をテーマに身近な人権差別問題について、楽しく軽快なトークでお話いただきました。
「普段なにげなく歌っていた竹田の子守歌にも差別が潜んでいる」そのようなお話も聞かせてもらい、かつて日本に日常にあった差別を、今を生きる私たちが気付き、無くしていかなければいけないのだと改めて感じた時間でした。



交通安全コンクールへの参加活動ご苦労様でした。

路面標示塗布作業

まちづくり推進員
市民活動部員さん
のおかげで、はっ
きりとよく見える
ようになりましたね。



立哨活動

登校・出勤の時間帯に合
わせて立哨、交通安全を
呼びかけました。
(子ども安全リーダー・少年補導
委員・地域安全指導員・子ども会
中年会の皆さんにて)



自転車マナーアップ啓発活動が はじまりました

9月から毎月1日と
15日に守山南中学校
前交差点で立哨活動を
します。

- ・信号無視はないか
- ・併走はないか
- ・車道での逆走はないか

などをチェックしたりします。



皆さん自転車マナーは大丈夫ですか？

地藏盆

2023.8.19 (子ども会開催)

子ども会の6年生で福寿院にて地藏盆が行われ、
地域のお地藏様を供養していただきました。
お経をあげてもらい、役員さんによって新しい前
掛けもしてもらって気持ちよくなりましたことと
思います。

いつも地域の子も
達を見守って下さり
ありがとうございます



俊太郎碑清掃

2023.7.15 (ボランティアの皆さままで)

曇り空で風はふくものの、
蒸し暑い中を汗だくになり
ながら綺麗に清掃してい
たできました。
ありがとうございました。
来年は古高俊太郎先生の
没後160年祭の年です。
この毎年の清掃活動により
美しい状態で迎えることが
できますね。



ふるたか ひと 人

～夢に向かって世界へ羽ばたく～

中島 楓さん 17歳 (ガーデンヒル守山班)



9月からイギリスのバレエ学校に通っています。英語の環境に苦労していますが、レベルの高い学校で世界中から集まった生徒たちと一緒に学べてとても良い刺激を受けています。

夢に向かって頑張っている人はたくさんいますが、僕もその中の一人として、ヨーロッパでのプロのバレエダンサーになるという夢を実現するために頑張り抜きたいと思っています。(中島 楓さんより)



応援しています！！



研修会 『アイマスク装着で歩行体験』

副自治会長 宇和川 三奈

京都にある視覚障害者総合福祉施設「京都ライトハウス」さんで見学・体験の研修を受けてきました。「京都に盲学生のための図書館を」という視覚障害者の願いを受けて1961年に創立されたそうです。施設内では右側通行のルールがありました。視覚障害者の方々が歩いていてお互いにぶつからないようにするためです。体験ではアイマスクを装着し、自席から案内人の肘を持って、声かけしていただくままに進んで部屋から出て、廊下を散歩してまた自席に着席する。交代して次は案内人の体験、ということをしていただきました。途中段差があるなど、案内される側は不安と恐怖感、案内する側もどう伝えれば安全に歩いてもらうことができるか不安と緊張感の連続でした。ほんの数分の距離なんです。私達たちにとっては数分の体験でしたが、視覚障害者の方はこれが日常なのかと心と身にしみて感じました。その後のお話では「案内してくださる方はつい後ろから見守ろうとされますが、目が見えない者にとって先を歩かされるということはものすごい恐怖なんです。どうぞ前を歩いて私たちに安全に歩くための情報を伝えてください。」と言われ、「ああ、そうなのか」と気づかされ、反省をしました。「困っている私たちを見かけたらどうぞ声をかけてください。できるだけ目の前で。すぐ近くで。」と、職員であり視覚障害者でもある吉田さんは強く訴えておられました。

『その白杖の方、お困りですか？お手伝いしましょうか？』
どうぞ勇気をもって声をかけてみてください

古高町民誌シリーズ 1 「古高俊太郎先生の生涯」より ～志士としての道①～

時の安政の大獄で尊王派の捕縛処刑などの弾圧が強まり、父・正明氏と特に親しかった梅田雲濱までも幕吏(幕府の役人)に捕らえられる事態となる。梅田雲濱は若狭小浜の藩士であったが過激な献策が藩主の怒りをかうこととなり、藩を追われ浪人として学者となり、尊王攘夷の急先鋒として、俊太郎先生がその活動に加わるのに大きな影響を与えた人物であり、その同志雲濱を救うべく全力を尽くすが、これを果たすことは叶わず、逆に幕府の探索は俊太郎先生自身にもせまり、深く潜伏しなければならなくなる。

この安政の大獄により、頼三樹三郎・橋本左内・吉田松陰たちが獄死するも、俊太郎先生の意志はますます強固なものとなっていくのである。

安政六年に父・正明氏が亡くなり、俊太郎先生は三十歳にして家督を継ぎ、父の後をうけて毘沙門堂跡の家士となる。翌年、浪士が大名・井伊直弼を江戸桜田門外で襲い刺殺する事件が起こり(桜田門外の変)尊王攘夷の志士には潜む者が多くなる一方、倒幕の志士も増えてきていた中で、俊太郎先生も意を決していたものの、幕府の偵吏(探偵を職務とする役人)の目が厳しく、活動は難しくなっていた。

次号 ～志士としての道②～ へつづく



引っ越してきました

- ・五十嵐 拓也 さん (大海班) 6月
- ・大西 耀介 さん (南班) 6月
- ・上村 瑠美 さん (西班) 7月

どうぞよろしく！！



～ふるたかふれあいカフェ～

次回は 10/19(木)

美味しいコーヒーとお菓子を
ご用意して、スタッフ一同
公民館でお待ちしております♡
毎月の開催日は掲示板や回覧版でご確認ください

